

第23回 在宅ケアネットワーク栃木

(総会・シンポジウム)

主催 在宅ケアネットワーク栃木

テーマ 認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える
～自分らしく生きるために必要なことは...～

日時 2019年2月11日(月・祝)
10時10分～15時45分(9時30分開場)
※ 9:55～10:10 開演前講話



会場 自治医科大学 地域医療情報研修センター 大講堂

【メッセージ】

第23回 在宅ケアネットワーク栃木大会長 永島 徹 世話人(NPO法人風の詩)

誰もが安心してなじみある地域で、生活していくためには、地域生活を営んでいる一人一人が、主体性を活かしていくことは不可欠です。たとえ認知症や障がいなどがあっても、エンパワメントの「機会 Opportunity」があることで、主体性を尊重した生活の実現になると考えます。よりよい「機会」を創りだしていくために、医療、保健、看護、介護、福祉などの専門職の有機的連携による地域生活サポートが、効果的に関われることは重要です。

そこで、今回の在宅ケアネットワーク栃木では、認知症の人とその家族がよりよく生きていくことを話題にし、誰もが、より安心した生活の営みが継続できるために必要な「機会」をどう創り出していくのかを本会テーマ「認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える」として、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。多くのご参加を、心よりお待ちしております。

◆ 参加受付 ◆

(1) 大会参加費(兼)年会費

一般会員 1000 円、学生会員 500 円(定員 540 名)

会員でない方は、当日会場で入会手続きをお願いします

(2) 申込み

円滑な大会運営のため「事前申込み」(振込み申込)にご協力ください。

※ 会場での弁当の準備販売は御座いません。



締切り 2019年1月31日

【振込み先】 ゆうちょ銀行 □座記号番号:00180-1-418778

加入者名:在宅ケアネットワーク栃木

※ 通信欄に「申込者住所」「参加者全員の氏名」を書き、合計額をお送りください。
当日参加も可能ですが、出来る限り事前申し込みをお願いします

※本企画に参加される認知症ケア専門士は「認知症ケア専門士：単位3単位」が単位認定されます。

【 プ ロ グ ラ ム 】

総合司会者：黒崎史果 世話人

9:55～10:10 開演前講話 大田秀樹 世話人

オープニングメッセージ 永島 徹 大会長

10:10～11:00 **第一部** 記念講話 & ショート談話

『認知症施策の今とこれから』

講演者：余語卓人さん

(厚生労働省 老健局総務課 認知症施策推進室)

座 長：村井邦彦 世話人

11:00～12:30 **第二部** 記念講演 2

『認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える』

～医師として、家族としての思いを語る～

講演者：長谷川 洋さん(長谷川診療所 院長)

座 長：永島 徹 世話人

12:30～13:30 休憩・昼食(1時間)

13:30～14:45 **第三部** アピールタイム 持ち時間：1団体 3 分×10 団体

(ビデオメッセージまたは自動スライドショー)

進行係：栗本孝雄 世話人

14:45～15:45 **第四部** 座談会「認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える」

～自分らしく生きるために必要なことは...～

講演者：介護者・支援者たち

座 長：高橋昭彦 世話人

15:45～15:50 テイクホームメッセージ

次回大会長挨拶：村井邦彦 世話人



◆ポスター発表・自由集会受付◆

締切り 2019 年 1 月 26 日(期日厳守！)

(1) ポスター発表

会場ホールで、ポスター掲示による呼びかけや研究発表(非営利限定)ができます。

ポスター発表申込みはメールか電話でお願いします。

(2) 活動アピール(13:30～14:00)

各団体ともビデオメッセージでアピールすることができます(10 団体まで)。

電話かメールで事務局にお問い合わせ・申し込みの上、ビデオメッセージ作成の前にお申し込みください。アピール時間に限りがあるため下記の要件をご理解ご協力をお願いいたします。

①2 月 8 日(木)までに 3 分以内のビデオファイルまたは PowerPoint の自動スライドを作成、

お送りください(ビデオは MP4 形式推奨)。発表者挨拶は 1 名のみでお願い致します。

②内容は自由です。ただし挨拶の後のビデオ・PowerPoint は自動上映になりますので操作は事務局にご一任ください。

(3) 自由集会 閉会后、小規模の集会が可能です。事前にお申し込みください。

これら(1)から(3)については、事前に事務局までご相談ください。

【お問い合わせ先】

在宅ケアネットワーク栃木事務局 ゆいの里

電話：0287-38-1868、FAX：0287-38-1869、E-mail：npo-yui@yuinatosato.gr.jp

今年の第 23 回 在宅ケアネットワーク栃木
「認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える」
～自分らしく生きるために必要なことは…

見どころ紹介



第一部 記念講話 & ショート談話『認知症施策の今とこれから』

厚生労働省 老健局総務課 認知症施策推進室 室長補佐の余語卓人さんによる国の認知症の人や家族、様々な対応政策の最新情報の講話あり。その後、大会長とのショート談話によるここでしか聞けないお話は見物です。

第二部 記念講演 2『認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える』 ～医師として、家族としての思いを語る～

講演者の長谷川 洋さんは、川崎市にて長谷川診療所を開院し外来に応じながら、積極的に往診対応に勤んでいる精神科医師である。父親は、あの「さくら、ねこ、でんしゃ」の長谷川式スケール作成者長谷川和夫医師です。講演では、医師として、息子としての熱い思いを込めたお話です。

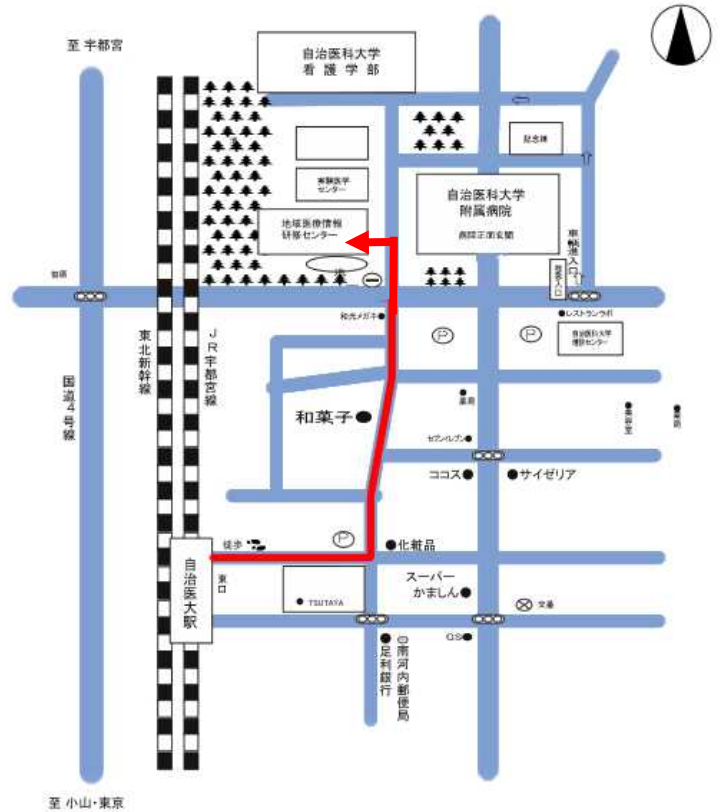
第三部 アピールタイム活動紹介 持ち時間：1団体 3 分×10 団体

毎年恒例の地域で様々な取り組みをしている皆さんのアピールタイムです。
今年は、どのようなアピールが見られるか、乞うご期待です。

第四部 座談会「認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える」 ～自分らしく生きるために必要なことは…～

登壇者には、若年性認知症の夫に寄り添っている介護者。その 2 人の様子を記録してきた NHKディレクター、身近で関わる認知症地域推進員などです。語り合いには、映像や写真などを紹介しながら若年性認知症の夫に寄り添う妻が、これまでを振り返り、出会った機会を通じて、自分らしく生きるために必要なことを語り合います。

会場案内図



自治医科大学・自治医科大学附属病院 地域医療情報研修センター

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

▶JR宇都宮線「自治医大駅」下車、徒歩 10 分

▶東北新幹線 小山駅または宇都宮駅 下車、宇都宮線の普通電車に乗り換え



多くの皆さまの
ご来場をお待ちしております！